

2015 Bursa MTB Cup - Bursa (UCI クラス 2) レースレポート

BRIGESTONE ANCHOR CYCLING TEAM 齊藤 亮

+++++

大会名：2015 Bursa MTB Cup - Bursa (TUR/UCI C2)

期日：2015年4月19日（日）

会場：トルコ / Bursa Park

天気/気温：曇り / 21℃

競技種目：男子エリート / 3.6km×7周回（25.2km）

参加数：43名

結果：7位

Web：<http://bisiklet.gov.tr/>

+++++

今シーズン、キプロス&アメリカでの第1次遠征に引き続き、4月15日～28日までの間トルコへと第2次遠征に出発した。今回トルコでのレース参戦の最大の目的はUCIポイント獲得だ。ヨーロッパのMTB強豪国へのレース参戦よりも、中東のトルコでのレース参戦は確実にUCIポイントを獲得できる可能性がある。4月15日の成田空港の夜便フライトにて日本を出発し、イスタンブール経由でレース会場のあるブルサに到着。今回は選手2名だけでの遠征&移動なので大変な部分も多々あったが、海外遠征に慣れているからこそ何とかこなしてしまう。ブルサの気候は日本と比べると肌寒い感じはするものの、日中の気温は20℃前後まで上昇する。トルコ第2の都市だけのことはあり、ブルサ市内は車が渋滞するため、レース会場へのアクセスは30分程の距離を基本的に自走で行った。レースコースはアスファルトやタイル舗装の登り基調が多く、オフロードは畦道を繋ぎ合わせたようなシングルトラック、沢渡がある水場、ドロップオフからのスイッチバックなど、バリエーション豊かなコース設定になっている。コース状況はドライ区間が多いものの、沢を渡る区間もあるのでウェット区間で機材やウェアも汚れてしまう。気を抜いたり、油断をすると危険な箇所も点在し、全般的にはクライム能力が必要とされるバランスの取れたコースと言える。コース状況に合った適正なギア比を試しながら試走を繰り返すが、体調がイマイチ良くないせいか気持ちが乗らず思い悩んでしまう……。この日は気持ちを切り替えて早めに試走を終え、ホテルでゆっくりと身体を休めることにした。レース当日。6時30分に起床していつものように朝食。8時から約45分のライドに出かけて体調をチェック。前日より体調は回復傾向にある気はするが、レースを走って見ないと正直分からない。定刻スタートの1時間30分前に会場入りし、いつものように準備開始。受け付けでもう1度インフォメーションをしっかりと確認し、定刻通りの13時スタートの7周回とのこと。スタートはゼッケンナンバー順にコールアップされ2列目の左端へ。13時に男子エリートがスタート。スタートから物凄い勢いのペースでレースが展開され、路地裏や古民家の狭い野路をすり抜けアスファルトの登り区間へと入っていく。スタートダッシュはまずまず上手くいったにも関わらず、激坂登りでインナーに落とす際にチェーンが外れてしまいズルズル後退……。上手くいかない時はとこと

んいかないものだなあ・・・と溜め息が出たが、集中力を切らさずひたすら前を追った。先頭集団はハイペースで進んでいく一方、中盤以降の集団はタイトなコーナーや激坂登り、折り返し区間などで渋滞になってしまい良い流れで走ることが出来ない。前の選手をなかなかパスできずに苦戦するがこれもまたレースであり、位置取りの大切さを思い知らされる。1周目を10位前後で通過し2周目へ。焦らずマイペースでレースを進めるが、思いの外ペースを上げることが出来ない。2周目を7位で通過し前にいる2名のパックに合流する。地元のバイクショップのオーナー家族の方に協力してもらいフィードゾーンで補給をしてもらいボトル交換をすることが出来た。4周目を終えてトップと3分差。自分のペースを掴めないまま我慢のレースが続く。呼吸はさほど苦しく感じることはないが、脚に疲労感を感じ身体が動かない……。気持ちとは裏腹に反応が鈍い。レース途中でいきなりトラックが現われコースを封鎖している。もう何が何だか分からない部分もあったが、冷静になり温厚になり、広くなる路地まで待ちトラックをパス。5～6周目で4位まで順位を上げることが出来たが、ファイナルラップで完全に力尽き3人の選手に抜かれ7位でのフィニッシュとなった。イメージとは違ったレース内容に久しぶりに落胆してしまった。現状を消化出来ない訳ではないが、結果が出ない時にどんな自分でいられるか……。こういった過程が大事なことも理解している。試行錯誤しながらも、自分の力で現状を打破していくしかないと思う。まだまだやらなければいけない事、課題、体調管理、身体のケア、当たり前前を当たり前にする大切さ……。そして今はある程度の時間も必要だ。今の正直な気持ちと真正面から向かい合い、このレースで感じたこと、悔しさ、虚しさ、弱さ……。今遠征での経験と失敗をしっかりと生かし、次のステップへと繋げていきたい。今週末のレースも目的と課題を持ってしっかりと走り切りたいと思う。この歳になってもまだまだ向上心があり、毎日が刺激的で充実した日々を過ごせている。

たくさんの方々のご理解とご支援、サポートに感謝しつつ、自分らしい走りをいち早く取り戻せるよう努力していきます。今後ともよろしくお願ひします。

【使用機材】

バイク：ANCHOR / XR9 (S サイズ)

コンポーネンツ：SHIMANO / XTR Di2(FC-M9000-2) 36T-26T

ホイール：SHIMANO / XTR WH-M9000-TL-27.5

シューズ：SHIMANO / SH-XC90

ペダル：SHIMANO / PD-M9000

ハンドル：SHIMANO PRO / THARSIS

ステム：SHIMANO PRO / THARSIS

シートポスト：SHIMANO PRO / THARSIS

フロントフォーク：SR SUNTOUR / AXON-WERX-RC-RL-RC AH CTS 27.5/100MM

タイヤ : SCHWALBE / RACING RALPH (27.5×2.25)

サドル : fi'zi:k / TUNDRA3

ヘルメット : KABUTO / ゼナード(アンカースペシャルモデル)

サングラス : adidas eye wear / evil eye halfrim pro / クリスタル S グラデーション

ケミカル : [HOLMENKOL](#)

時計メーター : SUUNTO / AMBIT2

ネックレス : SEV

ドリンク : SAVAS (株式会社明治)

サプリメント : SAVAS (株式会社明治)

レースウェア : WAVE ONE

レースグローブ : KABUTO / PRG-3

アンダーウェア : CRAFT

インソール : SUPER feet / Black

アパレルウェア : Columbia

ザック : deuter

テーピング : New-HALE

